

# 鶴ヶ岡ってこんなところ

## 【事】はじめ

☆5つの地域からできている  
 明治22年に5つの大字(高野, 鶴ヶ岡, 豊郷, 盛郷, 福居)が合併して、鶴ヶ岡村ができました。いまでも大字ごとに公民館があったりスポーツ大会でチーム分けをしています。

## ☆“鶴ヶ岡”の由来

鶴ヶ岡という地名が登場したのは、棚村、川合村、殿村、舟津村が合併して鶴ヶ岡村(大字の鶴ヶ岡=字鶴)になった明治9年。舟津から諏訪神社の森へ鶴が飛来したことに由来します。

## 【川】合区のこと

### ☆鶴小は川合にあります

旧鶴ヶ岡小学校は、大字の鶴ヶ岡(字鶴)、さらにその中の川合区にあります。

### ☆費用負担があります

川合区内では、事業者の方も住民と同じく、区費の支払いや日役(集落の共同作業)への参加をされています。日役に参加できない時は不参金が必要です。

#### 【川合区の区費・日役】

区費	年18,000円	
日役	年2回	不参金
	水路清掃(6月)	4,000円
	草刈(8月)	6,000円

# 鶴ヶ岡ものことマップ



凡	例
■	自然系
■	文化系
■	イベント
■	宿・食事処
■	シヨツア

# こんなことしてます・できます（協力体制）


## 山 里の記憶伝承教室

### ‘匠’の技術を次代に受け継ぐ

鶴ヶ岡に伝わる伝統食や伝統工芸の技術を守り受け継ぐため、匠に教わる教室です。町外からの参加も多く、すぐに定員オーバーになる大人気の講座です。

【開催実績】  
鯖なれ寿司づくり、栃もちづくり  
しめ縄づくり、みそづくり、そば打ち

主催：鶴ヶ岡振興会




## 棚 野の千両祭

### 豊作、勇武等の縁起を祝う

千両祭は、諏訪神社の例祭のうち15年に一度の中祭と、30年に一度の大祭に行われる奉納芸です。5大字ごとに異なる民俗芸が奉納され、華麗さや多額の費用をかけることから千両祭と呼ばれています。京都府無形民俗文化財。次回は2020年に開催されます。

主催：諏訪神社




## ム ラガーレ食堂

### 若手が創るワクワク空間

月1回、ムラの駅たなせん前でオープンする朝市的野外食堂。美山の食材をふんだんに使用し、季節ごとの逸品はプロ料理人の腕が光ります。年3回の夜間開催では地域住民が集います。

【開催実績】  
2015～2018年まで 計33回開催

主催：ムラガーレ食堂




## 田 舎暮らし体験ツアー

### いつか住みたい！究極の田舎

農林業などの仕事や川遊びなど「鶴ヶ岡の暮らし」をお試しできるプログラムです。田舎への移住を考えている方に好評です。

【開催実績】  
百姓（稲刈り、稲木干し、滝見学）  
木こり（間伐、玉切り、植栽、獣害対策）  
夏しごと夏あそび（そば播種、川遊び、薪割り）

主催：鶴ヶ岡振興会




## 上 げ松

### 圧巻の火祭り

高さ20mを超えるトロ木に松明を放ち点火させ、農作物の豊かな実りへの感謝と火の神「愛宕神社」へ火魔封じを願い、献燈されるものです。現存する町内4か所のうち、3か所が鶴ヶ岡。多くの観光客が訪れます。

主催：川合区、殿区、盛郷区




## 高 齢者等無償移送サービス

### 住み続けられるまちづくり

車の運転が困難な高齢者や障がいのある方の移動手段を確保するため、地域が自主運行しています。本数が少ない公共交通機関を補充し、鶴ヶ岡の中心と利用者の家とを結びます。

主催：鶴ヶ岡振興会、有限会社タナセン




## カ ンキョウセイビ

### 住民自らが整備

旧鶴ヶ岡小学校の運動場や体育館などは、いまでも災害時の避難所であったり、イベント会場として使用する大切な施設。グラウンドの草引きやウッドタイルの張替えなど年2回住民総出で整備作業を行っています。

主催：ムラガーレ食堂、鶴ヶ岡振興会




## 神 谷雪まつり

### 鶴ヶ岡唯一の雪イベント

かまくらづくりや雪だるま・雪像づくりなど、雪遊び満載の1日。遠方からバスで毎年訪れる家族連れが何組もいる、奥地にして人気のイベント。屋台も出て本格的なお祭り気分が味わえます。

主催：神谷ふるさと雪まつり実行委員会



## 鶴ヶ岡の特産品

